

広報 おきたま病院

第31号
令和4年11月

各種
指定等

救命救急センター
第二種感染症指定医療機関
エイズ治療拠点病院

地域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院
地域医療支援病院

災害拠点病院
臨床研修指定病院



目次

- p02 薬剤師の業務紹介
- p04 眼科診療の特徴
- p06 診療科紹介 眼科
- p07 栄養ミニ講座
- p08 薬剤師募集
年末年始の診療について

病院理念

心かよう信頼と安心の病院



運営方針

- 1 患者本位の医療を展開いたします。
- 2 高度・救急医療を提供いたします。
- 3 健全経営の確保に努めます。
- 4 人材を育成いたします。
- 5 地域連携の推進に努めます。
- 6 快適な療養環境を提供いたします。

当院薬剤師の業務紹介

薬剤部薬局長 松田 隆 史

「薬あるところに薬剤師あり」をモットーに、人員の確保に奮闘しながら、各サテライト施設と連携して安心安全な薬物療法を提供できるよう日々業務を行っております。

当院薬剤師の主な業務についてご紹介いたします。

1 調剤業務（内服・外用調剤、注射薬個人セット）

様々な調剤支援システムを導入し、調剤過誤防止に努めながら、正確かつ効率的な調剤を行っています。



散薬鑑査システム



水薬鑑査システム



自動錠剤分包機



注射薬自動払出装置

2 抗がん剤調製業務

注射薬混注鑑査システムを導入し、がん化学療法が安全に行われるように処方鑑査から調製、副作用モニタリングまで行っています。



注射薬混注鑑査システム



抗がん剤調製の様子



点滴の説明（イメージ）



3 病棟業務（薬剤管理指導業務、整形・眼科病棟における専任薬剤師業務）

処方されたお薬を説明するだけでなく、持参薬を確認し処方提案をしたり、重複投与・用法用量などを確認します。



配薬カートの確認



面談室での聞き取り



病棟回診への同行

4 外来面談による服用薬確認業務

入院前に休薬が必要な薬剤の有無、服薬状況などの確認を行い、鑑別報告書を作成します。



入院前の面談の様子



入院当日の面談の様子

患者氏名	薬剤名	処方内容	注意事項
山田 太郎	アスピリン	100mg 1錠/日	手術前に中止を考慮する薬剤(抜粋)
山田 太郎	ロキソニン	60mg 1錠/日	
山田 太郎	オメプラゾール	20mg 1錠/日	
山田 太郎	メロキシカム	75mg 1錠/日	
山田 太郎	ワルファリン	3mg 1錠/日	

手術前に中止を考慮する薬剤(抜粋)



DI (Drug Information) ニュースの発行や医薬品に関する情報収集を行い、保険薬局からの問い合わせなどに対応しています。



医薬品情報室



DIニュース



薬剤師

募集要項等は
8ページをご覧ください

募集しています！

薬剤師インタビュー／

当院に入職した理由、
やりがいについて聞いてみました。

① 男性薬剤師（平成17年入職）

チーム医療に大きな魅力を感じ、多くの分野で薬剤師が積極的に取り組んでいる当院に入職しました。自分の意見が患者さんの治療に活かされた時にやりがいを感じます。

② 男性薬剤師（平成25年入職）

当院の多くの診療科でがん治療が行われています。がん化学療法に副作用はつきものですが、薬剤師の目線で提案した対処法が奏功したときに、とてもやりがいを感じます。

③ 女性薬剤師（平成31年入職）

先輩薬剤師に指導していただきながら。日々仕事をしています。大学時代の知識も活かしながら患者さんに指導し、“ありがとう”と言っていただけたときに、やりがいを感じます。

④ 女性薬剤師（令和2年入職）

元々病院志望で、病院の雰囲気の良さが決め手となりました。今も病院にしてよかったと思える日々を過ごしています。調剤も大事ですが、学べる環境があるのも大事だと思います。

⑤ 女性薬剤師（令和2年入職）

地域医療の中核を担う総合病院であり、多くの症例を経験できると考え入職しました。若手が中心で現場を回しており、分からないことも相談しやすい雰囲気が魅力の一つです。

⑥ 男性薬剤師（令和3年入職）

多種多様な症例を勉強できる。福利厚生が充実しており職場の雰囲気もよく、休暇も取りやすい。他の医療従事者の方々と連携して多角的に患者さんの治療に関わることができる。

当院には様々な資格を持った薬剤師が勤務しています。

- がん薬物療法認定薬剤師
- 感染制御専門薬剤師
- 日本糖尿病療養指導士（CDE）
- NST（栄養サポートチーム）専門療法士
- 病院薬学認定薬剤師
- 認定実務実習指導薬剤師
- DMAT（災害派遣医療チーム）隊員

当院の 眼科診療の特徴



当院の眼科では、白内障や緑内障、眼底出血などの一般眼科の診療に加えて、以下のような検査や診療も行っています。

1 CT検査, MRI検査

通常的眼科診察では眼球の中（眼底）までは外来で検査できませんが、眼球の外や周囲、さらにその奥の脳に何か病気があるのかどうかはCT検査やMRI検査をしてみないとわかりません。眼科におけるCT検査やMRI検査をする目的には下記のようにいろいろなものがあります。



① 複視の原因検査

ある日突然ものが二つに見えるようになるのを複視といいます。どちらかの目の動きが制限されて発症する動眼神経麻痺や外転神経麻痺などがありますが、その原因として要注意なのは脳動脈瘤です。脳動脈瘤は神経を麻痺させるのみでなく破裂したら命にもかかわりますので、もし検査で見つかったら脳外科に紹介します。

② 目が前方に出てくる「出目」（眼球突出）の原因検査

眼球突出をきたす病気としては甲状腺眼症や眼窩腫瘍、眼窩内血管異常などがあります。バセドウ病によって眼球を動かす筋肉（外眼筋）が太くなることで眼球が突出し、目の動きが悪くなるのが甲状腺眼症です。眼球の後方や周囲に発生するできもの（腫瘍）を眼窩腫瘍（図1・図2）といいます。眼窩内血管異常にはうつむきの姿勢で眼球が突出してくるような眼窩内静脈瘤などがあります。それらをCT検査やMRI検査で診断し、それに基づいて手術やステロイド治療、放射線治療などの治療方針を検討します。

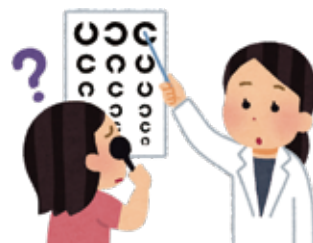


③ 眼痛を来す疾患の検査

涙の排出路の涙嚢（るいのう）に膿が溜まって急に腫れ上がる涙嚢炎急性増悪や眼球の周りの脂肪組織などに細菌感染を起こす眼窩蜂窩織炎（がんかほうかしきえん）などはまぶたが赤く腫れて強い痛みを伴います。時に蓄膿症（副鼻腔炎）が眼球の方へ浸潤してくることもあります。CT検査やMRI検査で診断して抗生物質を投与したり、耳鼻咽喉科へ紹介したりします。

④ 視力低下や視野異常の原因の検索

突然、眼痛を伴う著明な視力低下を来す視神経炎は視神経が太く腫れているのがCT検査やMRI検査で検出されます。子供では目も脳もどこも悪くないのに精神的なストレスが原因で「見えない」と訴える心因性視力障害というものがあります。これは時間が経てば自然に治ることが多いですが、さっぱり治らないという場合に脳腫瘍が原因だったということがまれにあります。また緑内障では視野が狭くなりますが、緑内障と思っていたのに脳腫瘍や脳梗塞などが原因で視野が狭くなっている場合もまれにあるので注意が必要です。



⑤ 外傷の評価

眼部をぶつけたりした際に眼球の周囲の骨（眼窩骨）の骨折、眼球やその周囲の組織の損傷、出血（血腫）や空気の迷入（気腫）などの有無のチェックにはCT検査やMRI検査が必要です。

2 眼腫瘍の診療



眼科でも眼球をはじめ、まぶた（眼瞼）、しろめ（結膜）、眼球の周囲（眼窩）にできるもの（腫瘍）が発症します。これらを**眼腫瘍（図3～5）**と言いますが、腫瘍には良性腫瘍と悪性腫瘍があり、悪性腫瘍では命にかかわることもあるので重要な疾患です。

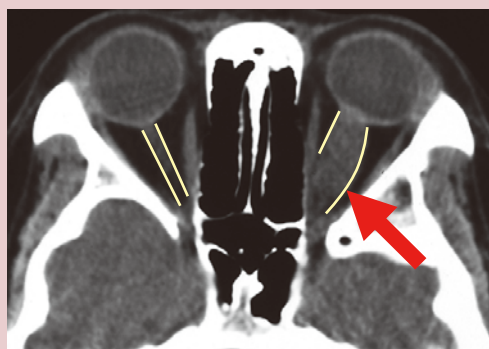
しかし、眼腫瘍は非常にまれなので、それを診療する眼科医は多くありません（眼腫瘍に慣れていない）。このような**一般眼科ではあまり対応されていない眼腫瘍の診療も当科の特徴の一つ**です。近隣のクリニックをはじめ、庄内地方も含めた県内各地から患者様が紹介されてきます。**心配な方はぜひ受診してください。**

図1：眼窩腫瘍（血管腫）



眼球の後方に塊状の腫瘍があるのがMRI検査で検出されます。

図2：視神経腫瘍



向かって右側の視神経が反対側と比べて著明に腫大しているのがCT検査で検出されます。

図3：眼瞼腫瘍（良性）



良性腫瘍の母斑です。下のまぶた（眼瞼）にドーム状に膨れた腫瘍がみられます。

図4：眼瞼腫瘍（悪性）

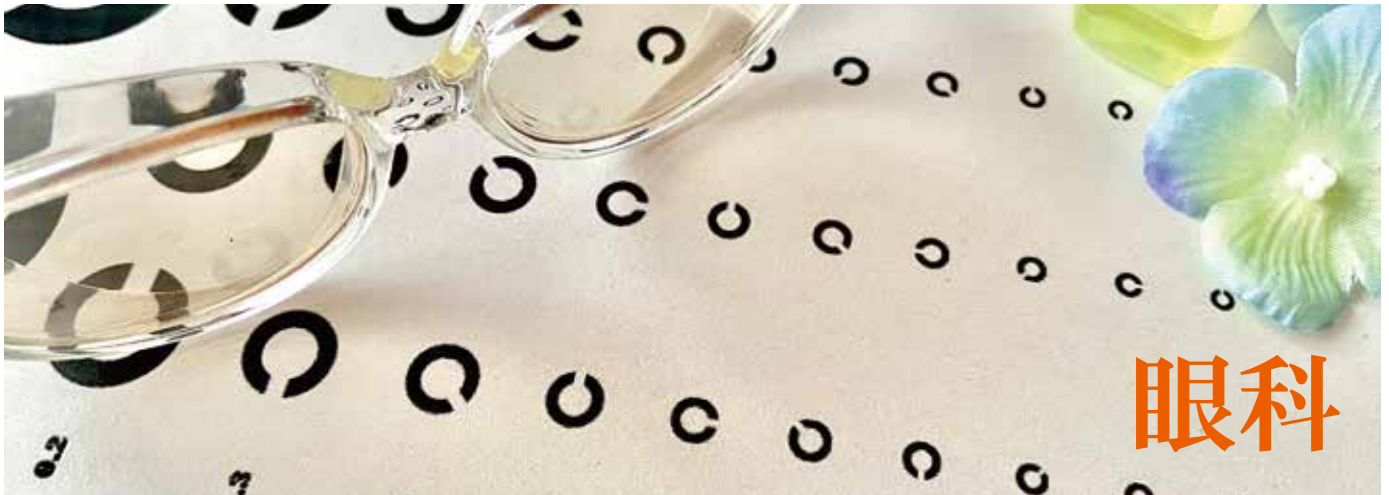


悪性腫瘍の基底細胞癌です。下のまぶた（眼瞼）に黒い色素を伴い、表面の一部がえぐれて潰瘍を形成しています。

図5：結膜腫瘍



悪性腫瘍の扁平上皮癌です。しろめ（結膜）に薄紅色の腫瘍が増殖し、くろめ（角膜）の方に進展しています。



■眼科について

月曜日から金曜日までの午前中が通常の外来診療となっていますが、緊急を要する紹介患者さまには随時対応させていただきます。

月・水・金の午後は、予約診療として糖尿病網膜症やその他の眼底疾患に対する蛍光眼底造影検査、緑内障に対する視野検査などの精査及びレーザー治療などの諸治療、白内障手術などの術前検査や眼鏡の処方などを行なっています。眼部の腫瘍の診療も行っています。

火曜日と木曜日は手術日としており、白内障手術をはじめ、角・結膜手術、外眼部手術などを行なっております。

当科での手術を希望される患者さんは、全身的な基礎疾患を持っておられるかたが多く、他科の諸先生のご協力を仰ぎつつ万全の体制を整え行なっております。そのため、手術は原則として入院していただき治療にあたっております。

■眼腫瘍センターを設置しています

眼科で診察する病気といえば、白内障や緑内障、眼底出血などの網膜疾患が圧倒的に多く、眼腫瘍はまれです。眼腫瘍の患者さんの割合は、新規の患者さん1,000人中50人くらいのもので、まれではあっても一旦発症してしまうと、見た目がよくない（醜形）、眼球が前に飛び出す（眼球突出）、眼球が十分に動かなくなる（眼球運動制限）、物が二つに見える（複視）、視力が下がる（視力低下）、などの症状をきたします。もし、腫瘍が悪性であれば生命が危険にさらされます。

この、まれとはいえやっかいな疾患である眼腫瘍を専門的に診療するために、「眼腫瘍センター」を開設しています。担当する高村浩医師は20年以上にわたり眼腫瘍診療に携わってきました。現在、日本眼腫瘍学会理事、日本臨床眼病理研究会世話人、日本眼窩疾患シンポジウム世話人、日本網膜芽細胞腫登録委員会委員なども務めています。「眼腫瘍」に関することについて、お気軽にご相談ください。

外来診療体制

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
高村 浩 大沼 貴哉	高村 浩 大沼 貴哉	高村 浩 大沼 貴哉	高村 浩 大沼 貴哉	高村 浩 大沼 貴哉



科長 たかむら ひろし
高村 浩



医師 おおぬま たかや
大沼 貴哉

今こそ 豆を食べましょう！

みなさんは豆類を1日にどれくらい食べていますか？

厚生労働省が推奨している21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）では豆類摂取の目標値は、1日100g以上となっています。一方で、令和元年「国民健康・栄養調査」における豆類の1日の摂取量は、約60gと目標値を大きく下回っているのが現状です。

豆類は、何ととっても高たんぱく質！低脂質！食物繊維が豊富に含まれています。当院では大豆ミートと呼ばれる大豆を使った加工食品を利用して、豆類の摂取を増やす工夫をしています。

今回は、**大豆ミート**と**大豆の水煮**を使った「大豆のトマト煮込み」をご紹介します。

公立置賜総合病院 おすすめ人気メニュー

大豆のトマト煮込み

Point!



ひき肉の量を減らし、代わりに大豆ミートを使っています。



【材 料】（2人分）

豚ひき肉……………40g
 にんにく……………1g
 サラダ油……………6g
 たまねぎ……………60g
 にんじん……………20g
 ピーマン……………10g
 大豆水煮……………40g
 大豆ミート（乾燥）……10g

水……………40cc
 ホールトマト缶…………40g
 トマトケチャップ……30g
 赤ワイン……………4cc
 醤油……………2cc
 塩・コショウ…………少々
 乾燥パセリ……………少々

栄養量（1人分当たり）

エネルギー	たんぱく質	脂質	食物繊維	食塩相当量
167kcal	11.1g	5.8g	3.6g	0.7g

【作り方】

- 大豆ミートをお湯で1分茹で、流水で洗った後水気をしっかり切る。（約4倍に膨らみます）
- たまねぎ、にんじん、ピーマンを5mm角のさいの目切りにする。
- にんにくはみじん切りにする。
- 鍋に油を入れて熱し、にんにくを入れ香りを出す。そこに豚ひき肉、大豆ミートを入れて色が変わるまで中火で炒める。
- ②の野菜を入れさらに炒め、大豆水煮、水を入れて野菜がやわらかくなるまで煮る。
- 野菜がやわらかくなったら、ホールトマト缶を入れさらに煮る。
- しんなりしてきたらトマトケチャップ、赤ワイン、醤油を入れ、塩、コショウで味をととのえる。
- 器に盛り、パセリを入れて出来上がり。

こちらのQRコードからくわしい作り方をどうぞ >>>



参考資料：令和元年 国民健康・栄養調査の概要（厚生労働省） 健康日本21（厚生省）

薬剤師として働いてみませんか？

置賜広域病院企業団では「薬剤師」を随時募集しています。

- ◆ 募集人数：3名程度（正職員／会計年度任用職員）
- ◆ 応募資格：薬剤師免許をお持ちの方、または取得見込みの方
※正職員採用の場合は年齢制限および筆記試験があります。
- ◆ 採用年月日：随時（免許取得見込みの方は令和5年4月1日）
※ご相談に応じます。



当企業団で薬剤師として勤務する方へ、奨学金返済を補助します。

○補助内容 申請年度内に返還した奨学金の額（上限：50万円）×10年間

※対象者、そのほかの条件については病院ホームページをご覧ください。

◇病院見学は随時受け付けております。

◇職場体験は毎週（火）（水）（木）13:30～16:00



☎置賜広域病院企業団総務課職員係／☎0238-46-5000

年末年始期間中の診療について

公立置賜総合病院の救命救急センターでは年末年始の診療を行っておりますが、緊急性の低い症状の場合は待ち時間が長くなります。

急な病気で比較的軽い症状の場合は、**長井西置賜休日診療所**、**南陽東置賜休日診療所**等をご利用ください。

長井西置賜休日診療所

- ◆ 診療時間：9時～17時
（受付8:30～11:30、13:00～16:30）
- ◆ 診療科目：内科、小児科、外科
- ◆ 場 所：長井市保健センター内
- ◆ 連絡先：0238-84-5799

南陽東置賜休日診療所

- ◆ 診療時間：9時～17時
（受付8:45～11:30、13:00～16:30）
- ◆ 診療科目：主に内科、小児科
- ◆ 場 所：南陽市東置賜郡医師会館前
- ◆ 連絡先：0238-40-3456

